

もりにふゆが やってきました。
つめたい きたかぜが
ふきはじめ、 ゆきも しんしんと
つもりはじめました。

そこには
ちいさな ゆきだるまが、
ひとりぼっちで さみしそうに
あるいていました。



とうみんの
じゅんびを していた
くまさんが、
その ゆきだるまを
みつけました。



「どうしたんだい？ ゆきだるまくん」
くまさんは しんぱいそうに
ききました。

「ぼく、 まいごになっちゃったの…」
ゆきだるまは
めに なみだを うかべて
こたえました。

